

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日)



大阪市住まい公社

大阪市住まい公社は「大阪市住宅供給公社」の愛称です

作成日：2024年9月18日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7～12
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	12
緊急事態対応訓練	13～14
代表者による全体の評価と見直し・指示	15
これまでの環境活動の紹介	15～16

□ごあいさつ

私たちを取り巻く自然環境は、益々その厳しさを増しております。今年も集中豪雨による河川の氾濫や土砂災害等により甚大な被害が発生しました。また、気象庁の資料によれば、「2022年夏(6～8月)の日本の平均気温の基準値(1991～2020年の30年平均値)からの偏差は+0.91℃で、1898年の統計開始以降、2番目に高い値になった」とのことです。熱中症により緊急搬送される人の数も増加しており、命に係わる事態となっております。

世界的に見ても、各地で異常な高温による大規模な山火事や大雨による洪水が発生し、多数の尊い人命が失われております。今後、氷河の崩壊による海面の上昇、海拔の低い地域の水没などのリスクが懸念されます。

COP27(国連気候変動枠組み条約第27回締約国会議)がエジプトで11月に開催され、気候変動対策の各分野における取組の強化など、世界が一体となって環境保全に対する取組みが進められておりますが、未だゴールは見えない状況にあります。

私たち一人一人にできることは限られておりますが、私たちの世代はもとより次の世代のためにも、この環境問題と真摯に向き合い、各人がそれぞれの立場で今できることを確実に実施していく必要があります。

そのためにも、全ての職員が「環境経営方針」を十分に理解し、環境経営目標に掲げた事項を率先垂範して実施していただくよう改めてお願いいたします。

最後に、先人から受け継いだ緑豊かな自然を、可能な限り現状のまま未来の世代に渡していくことが私たちの責任であります。

環境経営方針

<環境経営理念>

私たちは、安全・安心・快適な住まいとサービスを提供し、お客様の信頼と期待に応えるとともに、地球温暖化対策をはじめとした環境問題が経営にあたっての重要課題であることを認識し、全職員が一丸となって継続的に環境改善活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や公社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制に努めます。
4. 適正な利用により水資源の有効活用に努めます。
5. 住宅の管理にあたり環境配慮に努めるとともに、公社の社会貢献活動にも積極的に取り組めます。

制定日：2019年9月30日

改定日：2023年1月1日

理事長 田中 義浩

□組織の概要

更新日：2024年9月4日

(1) 名称及び代表者名

大阪市住宅供給公社
理事長 田中 義浩

(2) 所在地

本社 大阪府大阪市北区天神橋6-4-20 住まい情報センター5,6階
大阪市立住まい情報センター 大阪府大阪市北区天神橋6-4-20 住まい情報センター4階
募集センター 大阪府大阪市北区天神橋6-4-20 住まい情報センター5階
梅田住宅管理センター 大阪府大阪市北区梅田1-2-2-700 大阪駅前第2ビル7階
阿倍野住宅管理センター 大阪府大阪市阿倍野区旭町1-2-7-500 あべのメディックス5階
平野住宅管理センター 大阪府大阪市平野区喜連東4-4-35

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務部長 TEL：06-6882-7000
担当者 総務部 TEL：06-6882-7000

(4) 事業内容

賃貸住宅管理事業・住宅支援事業・住まい情報センター管理運営事業

(5) 事業の規模

売上高 122 億円

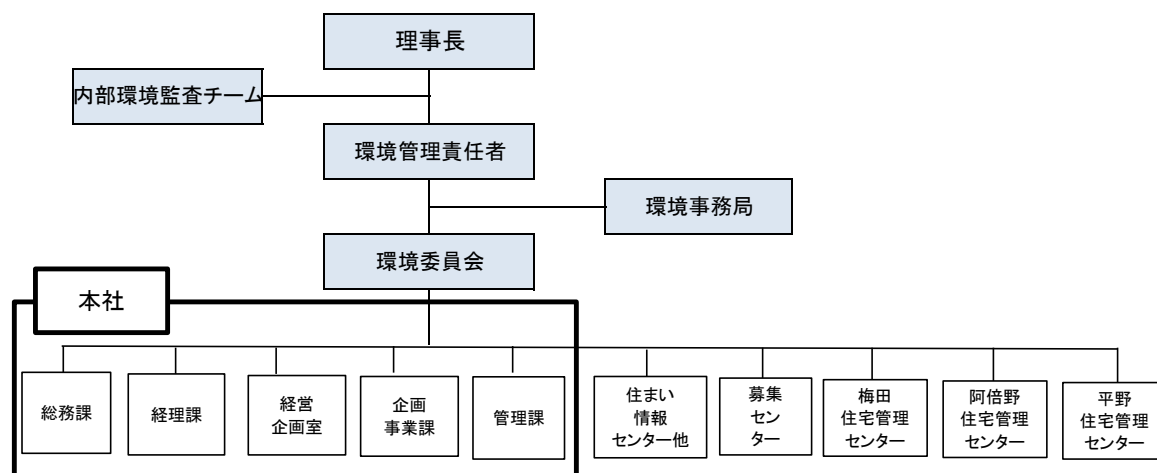
	本社	大阪市立 住まい情報 センター他	募集センター	梅田住宅 管理センター	阿倍野住宅 管理センター	平野住宅 管理センター	合計
従業員 名	74 名	40 名	44 名	86 名	61 名	45 名	350 名
延べ床面積 m ²	1,400 m ²	1,209 m ²	265 m ²	529 m ²	519 m ²	560 m ²	4,482 m ²

(6) 事業年度

4 月 1 日 ～ 3 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 大阪市住宅供給公社
対象事業所： 本社
大阪市立住まい情報センター
募集センター
梅田住宅管理センター
阿倍野住宅管理センター
平野住宅管理センター
事業活動： 賃貸住宅管理事業・住宅支援事業・住まい情報センター管理運営事業



	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・環境への取組みの全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
内部環境監査チーム	・環境に関する内部監査の計画 ・環境に関する内部監査の実施・報告
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境委員会	・環境経営目標及び環境経営計画書の審議 ・環境活動実績の確認・評価 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の職員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの原案の作成、公表（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
全職員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
水使用量	m ³	3,070	3,055	2,472
一般廃棄物排出量	kg	1,078	1,022	999
産業廃棄物排出量	kg	325	661	465

・水使用量は、長期化する新型コロナウイルス感染症拡大による来館者の伸び悩みと（回復傾向にはある。）、節水の啓発のおかげで前年度より少なくなりました。

・産業廃棄物排出量は、2020年度は、事務所の配置転換などにより発生しています。2021年度も事務所の配置転換や、「住まいのミュージアム くらしの今昔館」での大阪市による天井改修工事の関係で増えました。

2022年度は、市営住宅単身入居者の死亡のための残置物が増えており、全体の処分量が増えています。

・一般廃棄物排出量は、ビルの清掃会社が定期的に収集を行うため、公社が排出した正確な廃棄物排出量の把握ができません。

また、2021年度からは住宅管理センターでの排出量の計量も始めたため、排出量は増加しています。

・電気使用量は、テナントビルに入居しているため、公社が使用した正確な電気使用量の把握ができません。

平野住宅管理センターは、戸建ての事務所であっても電気代の負担は大阪市のため、公社がその使用量を知ることはできません。

□環境経営目標及びその実績

項 目	年 度	基準値	2023年		評価	2024年	2025年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
一般廃棄物の削減	kg	1,078	1,056	999		1,045	1,035
	基準年度比	2021年	98%	93%	○	97%	96%
産業廃棄物（混合）の削減	kg	325	319	465		316	312
	基準年度比	2021年	98%	143%	×	97%	96%
コピー枚数	枚	2,246,835	2,201,898	2,374,628		2,179,430	2,156,962
	基準年度比	2021年	98%	106%	×	97%	96%
水道水の削減	m ³	3,070	3,008	2,472		2,977	2,947
	基準年度比	2021年	98%	81%	○	97%	96%
環境に配慮した生産活動 ←環境に配慮した住宅の供給等	行動目標（次項による）						

化学物質について、使用していないため目標化していません。

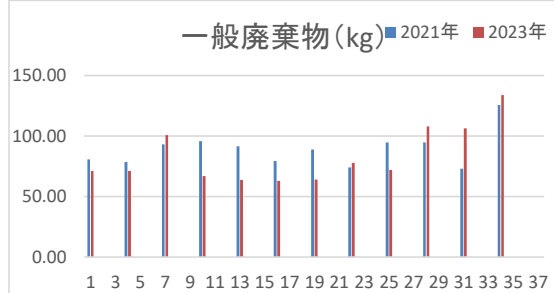
□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・数値目標	—	
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	ノー残業デーの定時退社や事務所内の不要な照明の消灯などを徹底し、節電に努めました。 今後も引き続き節電に努めます。
・不要照明の消灯	○	
・定時退社の実施（毎週水曜日）	○	
・夜間・休日は、パソコン、プリンター等の主電源を切る。	◎	
・夏季における軽装（クールビズ）、冬季における重ね着等服装（ウォームビズ）の工夫をする。	◎	

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・数値目標	○	平野センターでの現地調査の際に、ごみの計量方法についてアドバイスを受け、定期的な計量を行い始めたことによりごみの排出が増えましたが、今後ごみの排出抑制に努めます。
・紙類の分別の徹底（コピー用紙、新聞、その他の紙、段ボール）	○	
・封筒、ファイル等の再利用	○	
・回覧文や職務規程等は、紙面による管理は行わず、グループウェアで共有するようにする。	○	
・研修・会議等では、電子黒板やプロジェクターを使用する等、配付資料を少なくする工夫をする。	○	



取組紹介欄



一般廃棄物の減量にチャレンジしています!!

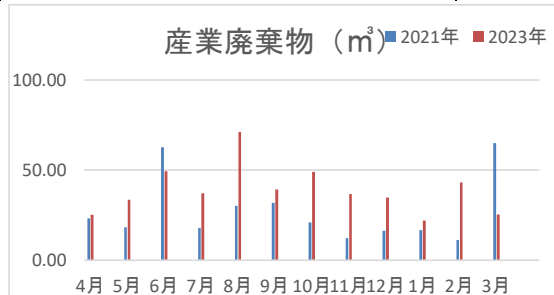
- ★入れていいもの
・机上で排出される紙ゴミ など
- ★入れてはいけないもの
・リサイクル可能なもの
〈例〉紙類・資源ゴミ
・生ゴミ
〈例〉お弁当の残りのゴミ・茶殻
- ◇びん・缶・ペットボトル・プラスチックゴミはさっと水洗いして
給湯室の専用ゴミ袋へ入れてください。
- ◇ペットボトルキャップはさっと水洗いして
給湯室のへごに入れてください。
乾けば専用ゴミ袋へ入れてください。



(単位: kg)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	80.75	78.55	93.15	95.65	91.55	79.40	88.95	74.00	94.80	94.80	73.05	125.75
2023年	71.25	71.22	100.74	67.00	63.71	62.97	64.05	77.75	72.00	107.97	106.35	133.75

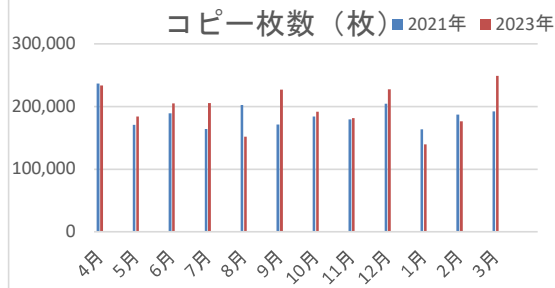
産業廃棄物（混合）の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・数値目標	×	市営住宅退去者の住戸からの排出がほとんどを占めており、退去連絡の都度、適正な処分を行うように指導はしていますが、指導に従わず残置していくため減らすことはできません。
・排出する前に再利用が可能なものか検討を行う。	○	



(単位: m³)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	23.16	18.10	62.50	17.90	30.15	31.64	20.88	12.14	16.14	16.63	11.12	64.94
うち市営	23.00	18.00	26.00	17.70	30.00	19.50	20.50	12.00	16.00	16.50	11.00	64.80
2023年	25.14	33.41	49.24	37.06	71.14	39.05	48.86	36.65	34.72	21.82	43.06	25.24
うち市営	25.00	33.30	46.20	36.90	71.00	38.80	48.70	36.50	34.50	21.70	42.90	25.00

コピー枚数	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・数値目標	×	住宅管理センターでの業務は、大阪市の専用システムにつながるプリンタから各種申請書を出し、審査に必要な大阪市指定の添付書類も多く、ほとんどを住宅管理センターでコピーするため、削減が難しいですが、公社全体でNアップ機能や両面コピーを利用するなど、工夫しながら削減に努めます。
・新機種の複合機を導入。IDカード認証にて出力。	◎	
・プリンターやコピー機で複数頁の印刷をする場合は、原則として両面印刷、可能な限り縮小・集約印刷とする。	○	
・グループウェアの活用を推進し、回覧等の情報共有のペーパーレスに努める。	○	



取組紹介欄



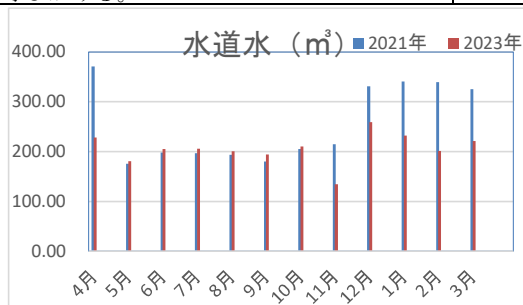
ハード面では、エネルギー・エコマーク製品を使用しています。

職員には省資源化と経費節減のため、両面印刷やNアップ機能の利用を呼びかけています。

（単位：枚）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	236,658	170,650	189,137	164,326	202,377	171,336	184,398	179,785	204,766	163,455	187,467	192,480
2023年	233,934	184,106	205,226	205,690	152,108	226,998	191,725	181,846	227,390	139,853	176,745	249,007

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・数値目標	○	11月から2月にかけて、天六事務所4・5階のトイレ改修工事があり、節水型の便器が設置されたため、大幅な使用量の削減につながりました。引き続き使用量の削減に努めます。
・トイレに擬音装置取り付け	◎	
・手洗い時、トイレ使用时、洗い物においては、日常的に節水を励行する。	○	
・節水について、トイレ等に掲示する等して、来庁者・施設利用者へ節水への協力を呼びかける。	○	



取組紹介欄



給湯室やトイレに節水を呼び掛ける掲示を行っています。

（単位：m³）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	370.83	175.65	197.78	196.78	193.55	179.71	205.18	214.96	330.84	340.46	339.02	324.78
2023年	228.15	180.45	204.98	205.43	200.43	194.03	210.25	134.68	258.86	232.30	201.28	220.83

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・数値目標	-	可能な限りグリーン購入に努めます。
・有害性の少ない資材の購入	○	
・省エネ性能の高い電気製品の購入	○	
・事務用品グリーン購入	○	

取組紹介欄



「大阪市グリーン調達方針」に基づいた事務用品の調達を心がけています。

公社賃貸住宅の置き配対応化	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・事業者と提携し、オートロックの公社賃貸住宅を「置き配」可能団地とする。	◎	2022年度に導入し、良好に稼働しています。

公社賃貸住宅エントランスへの宅配ボックスの設置	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・設置可能な団地に宅配ボックスを設置する。	◎	設置可能な団地にはすべて設置済みです。

取組紹介欄

屋内設置タイプ



防滴タイプ



防滴タイプは、屋外でも軒下があれば設置可能ということで、これまで置けなかった団地にも設置可能となりました。

公社賃貸住宅の機械式駐車場の平面化	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・機械式駐車場の平面化	△	現地調査の結果、工法の見直しが生じたため、今年度を実施する予定だった工事を実施することができなかったが、来年度早々に工事発注できるように調整に努めます。

取組紹介欄



施工前



地上2段式の機械式駐車場を撤去し、埋め戻します。
埋め戻したあとは、機械操作にかかる電気代が生じないためCO2削減につながります。
また高さや重量に制限がなくなるため、契約者の利便性も上がります。



施工後

公社賃貸住宅の共用部分の照明設備のLED化	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・共用部分の照明設備のLED化	◎	前期に実施した設計に基づき、2団地において照明設備の改修工事を行いました。

住環境教育の発信	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・住環境に関する図書コーナーの設置	◎	計画通り実施する事が出来ました。
・家を大切にして住もうためのセミナー・イベントの開催	◎	

取組紹介欄

「住まい情報センター」では、セミナーやイベントを実施する普及・啓発事業、専門家団体との連携による住まい・まちづくりネットワーク事業など、住まいに関する総合的な情報発信を行っています。

「住まいのライブラリー」では、大阪に住み暮らすことへの興味や愛着を育む目的で、住まい・まちづくりについて情報提供をおこなっており、「住まい・建築」と「住むまち・大阪」をテーマに、図書・雑誌・機関誌・企業広報誌・地域情報誌・ビデオ等を収集、配架しています。

役目を終えた図書、保存期限の終了した雑誌（寄贈された本の一部）を再活用する目的で始まった企画の「リサイクルブックフェア」では、希望者の方にこれらの図書をお譲りしています。

ライブラリーボランティアが作成した着物の端切れを利用したしおりや、壁紙のサンプル（見本帳）を利用した文庫本サイズのブックカバー（図書の借出しカードを初めて作成した方対象）のプレゼントも行っています。

また住環境に関する、省エネやエコなどを取り上げた図書のミニコーナーを設置することで、環境教育の普及・啓発に努めています。

リサイクルブックフェア



関連図書コーナー



住まいの基礎知識セミナー



住まいと暮らしのワークショップ



端切れを再利用したしおり



壁紙のサンプルを再利用したブックカバー



コミュニティ形成活性化支援・地域連携		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
梅田住宅管理センター			
・イベント・協働イベントの開催	◎	イベントは、13回実施することができました。移動スーパーは、新たに5住宅で実施することができましたが、自治会等のニーズと販売車両の駐車スペースを勘案しながら、拡大に努めます。	
・移動スーパーの実施	◎		

スマホ教室・ポッチャ体験など



防災講座



高齢者消費者講座



防火講座



移動スーパー



まちの保健室



阿倍野住宅管理センター		
・イベント・協働イベントの開催	◎	イベントは、6回実施することができました。移動スーパーは、新たに4住宅で実施することができましたが、自治会等のニーズと販売車両の駐車スペースを勘案しながら、拡大に努めます。
・移動スーパーの実施	◎	また、ウクライナ避難民に対する日本語学校は継続して実施しました。

地域の見守り活動の取組み説明会

区社協と連携した見守り活動



移動スーパー



認知症サポート講座・百歳体操



ウクライナ避難民向けの日本語教室



平野住宅管理センター		
・イベント・協働イベントの開催	◎	イベントは、1回実施することができました。移動スーパーは、新たに4住宅で実施することができましたが、自治会等のニーズと販売車両の駐車スペースを勘案しながら、拡大に努めます。
・移動スーパーの実施	◎	

高齢者消費者講座・「住まいのメンテナンス」説明会



移動スーパー



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物の適正処理
家電リサイクル法	テレビ、冷蔵庫の廃棄時適正処理
フロン排出抑制法	業務用空調機（サーバー室等）の簡易点検実施と記録
大阪市要求事項	グリーン調達方針

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等は過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

外部からの環境上の苦情・要望等はありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定：火災の発生	
■実施日：令和6年5月25日・9月1日・11月27日	■実施場所 天六事務所
■参加者：各担当部署から1名	
■実施内容：☑通報訓練 ☑消火訓練 ☑避難訓練 当日の訓練対象者は、遅滞なく訓練に参加して、水消火器での消火訓練にも参加しました。	
■評価： 通常、年2回の訓練を実施していますが、今年も新型コロナウイルス感染症感染拡大のため参加者を半数以下に限定し実施され、万が一に備えて訓練しました。	手順書の変更の必要性 □あり ☑なし
■実施状況の様子	
令和5年5月25日実施 避難訓練	令和5年9月1日実施 防潮パネル設置訓練
	

緊急事態の想定：津波に関する特別警報発令・地震発生	
■実施日：令和6年5月10日・10月30日	■実施場所 梅田住宅管理センター
■参加者：職員2名	
■実施内容：□通報訓練 ☑消火訓練 ☑避難訓練 屋外階段を利用し3階北側公開空地へ避難後、水消火器による消火訓練を行いました。	
■評価： 新型コロナウイルス感染症の完全な収束はまだですが、感染に十分留意したうえで参加するよう促され、コロナ禍前の形での訓練の実施となりました。	手順書の変更の必要性 □あり ☑なし
■実施状況の様子 大阪駅前第2ビル管理組合より案内があり、テナント各社より代表者が参集して実施されました。 屋外階段で避難後、水消火器による消火訓練が実施されました。	

緊急事態の想定：火災	
■実施日：令和6年5月24日・10月27日	■実施場所 阿倍野住宅管理センター
■参加者：職員2名	
■実施内容：□通報訓練 ☑消火訓練 ☑避難訓練 避難指示に基づき、各階エレベーターホールに集合の上、1階正面玄関に避難する。その後、水消火器での消火訓練を行う。	
■評価： コロナの5類移行に伴い、行動制限が緩和されたため、コロナ禍前の形で訓練が実施されました。	手順書の変更の必要性 □あり ☑なし

緊急事態の想定：火災	
■実施日：令和6年11月29日・令和6年1月18日	■実施場所 平野住宅管理センター
■参加者：対象職員	
■実施内容：☑通報訓練 ☑消火訓練 □避難訓練 1. 水消火器による消火訓練 2. 防火防災訓練 3. AED講習	
■評価：	手順書の変更の必要性 □あり ☑なし
1. 水消火器による消火訓練 消防より水消火器を借り受け各担当の代表10名で実施。 DVD「消火器の使用方法について」鑑賞後、実地での説明を受けたのち交代で水消火器を使用しました。	
2. 防火防災訓練 (1) 防火防災設備ツアー (2) 防火防災訓練 訓練は過失による火災と故意による火災の二部構成で実施しました。 過失編・故意編とも放火場所・配役・訓練終了までの目標時間・避難路の設定・進行の方法・119番通報内容（センターの住所・目印）等事前準備を行い、当日参加者に説明のうえ訓練を行いました。 勤務時間外に有志を募っての実施でしたが約30名の職員（大阪市職員含む）が参加しました。 排煙窓のボタンを押すもゴムが癒着し開かない場所があり、定期的な確認が必要であると参加者全員がた。	
3. AED講習 AED設置業者によるAED操作と心肺蘇生法（胸骨圧迫）の説明があり、人形を使つての心肺蘇生法（胸骨圧迫）5名が行いました。	
■実施状況の様子	
1. 水消火器による消火訓練	2. 防火防災訓練
 	 
3. AED講習	
	 

2019年から段階的にサイトの拡大に努め、2023年4月に公社すべてのサイトにおいて、エコアクション21の認証・登録が完了しました。

この4年間で振り返れば、新型コロナウイルス感染症による行動制限などによりテレワークやリモート会議など私たちの生活や行動様式は大きく変化しました。また、光熱水費をはじめとする諸物価の高騰は日常生活に大きな打撃を及ぼしています。

2024年1月1日の令和6年能登半島地震の発生や、初めての「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」の発令など大規模地震に対する備えや、異常気象による風水害への対応などがますます必要とされています。

公社においては、2023年度に以下のような取組みを行いました。

「電力による二酸化炭素削減」については、公社独自に電気使用量を計測することはできませんが、空調温度の適正化や不要照明の消灯など引き続き節電の取組みを徹底するよう指示しました。

「一般廃棄物の削減」については、目標以上に抑えることができましたが、引き続き削減に努めるよう指示しました。

「産業廃棄物（混合）の削減」については、排出量が大幅に増加しました。主に、市営住宅の退去者の増加と退去に伴う残置物の増加によるもので、本来は、退去者が自らの責任で処分すべきものであり、公社の対応には限界がありますが、退去者が自ら責任をもって処分するよう根気よく丁寧に指導に努めるよう指示しました。

「コピー枚数」については、使用量が増加しました。指定管理事業に係る紙ベースでの報告書や添付書類の提出などコピーの使用が避けられないところはありますが、印刷の工夫などにより極力コピー枚数の削減に努めるよう指示しました。

公社独自事業に関わっては、機械式駐車場の平面化や宅配ボックスの設置などにより、電気使用量やCO2排出量の抑制に努めました。2023年度からは計画的に公社賃貸住宅の共用部分の天井照明設備のLED化を行っていることから、2024年度以降も計画に沿って共用部分の天井照明設備のLED化を進めるよう指示しました。

令和6年能登半島地震に際しては、大阪市が被災者へ市営住宅の無償提供を行ったことから、市営住宅の指定管理者である公社は民間業者との速やかな調整を行い、入居者の生活に必要な家電や生活雑貨の迅速な調達を行いました。

また、公社独自の取り組みとして、1月15日からは公社賃貸住宅と家電や生活雑貨の無償提供を行うことで被災者の方々の避難生活を支援しました。現在、3世帯の方が入居されています。

住まい情報センターでは、住まいのライブラリーに環境に関する図書を集めたミニコーナーを設置し、環境教育に努めています。また、「リサイクルブックフェア」を実施し、ライブラリーで役目を終えた図書を新たな持ち主に譲渡するなど資源の有効活用を図っています。また、着物の端切れを利用したしおりの作成や壁紙の見本帳を利用したブックカバー作成など、資源の有効利用を行っています。

さらに「リフォームやリノベーションで古い住宅を大事に住もう」という内容のセミナーを実施し、エコな取組みの普及啓発に努めました。

住宅管理センターでは、市営住宅での入居者の高齢化やコミュニティ形成の課題の解決に向けた取組みとして、自治会からの要望に応じて移動スーパーの誘致やイベントの開催に取り組んでいます。

今後も、エコアクション21の取組みの継続のため、職員一人一人が環境への配慮を強く意識し、また積極的に社会活動に参加するよう努めてください。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり

理事長 田中 義浩

口これまでの環境活動、社会貢献活動の紹介

令和5年10月4日実施

大阪打ち水大作戦2023への参加

大阪市が取り組んでいる打ち水は、道路や庭に水をまいて夏の涼を得る、昔からの日本人の知恵であり、身近なヒートアイランド対策です。



令和6年2月3日実施

大阪マラソン“クリーンUP”作戦への参加

大阪市では、「大阪マラソン2024」開催前の令和6年2月3日（土曜日）から2月23日（金曜日）までの21日間において、大阪マラソン“クリーンUP”作戦を実施しており、公社では令和元年から毎年参加しています。



ペットボトルキャップの回収

プラスチックごみ排出削減、障害者の方の就労支援、世界の子供たちへのワクチンを送ることができるなど身近な社会貢献です。

キャップ回収量	
数量（kg）	49.00kg
個数（個）	16,332個
ワクチン換算（本）	20本



買物支援の取組み

移動スーパーの実施により、高齢者等の買い物の利便性向上を図るとともに、地域のコミュニティを活性化させ、移動販売時における住民への声掛けなどによる見守り活動の強化を図っています。



令和6年度 能登半島地震の被災者の方々への支援

令和6年1月1日に発生した地震で多くの方が被災し、県外への避難を余儀なくされました。公社では公社賃貸住宅と家電や生活雑貨の無償提供を行うことで被災者の方々の避難生活を支援しました。